

嵐山町総合戦略  
検証結果  
(平成27年度)

平成28年 7月

# 1. 雇用をつくる

## (1) 新たな産業と農業の活性化を図る

### 《基本目標》

嵐山町における新たな産業の創出と農業の活性化を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	市町村内総生産額※				
	現状値	H24年度 73,001百万円 (平成26年度発表)		目標値	80,000百万円 (平成31年度発表)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		72,118百万円 平成25年度 (平成27年度発表)				

※市町村内総生産額：1年間に生み出される付加価値の総額

### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

#### ○新たな産業の「風」をおこす

##### ①嵐山町版「地域おこし協力隊」の配置

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	(仮称)らんざん活性化チームのメンバー				
	現状値	—		目標値	10名(5か年分の累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		地方創生加速化交付金にて採択				

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	地域活性化事業	地域支援課	3,371				

#### 【効果があったこと】

- 平成28年10月より中心的に活躍する方を選任する予定であり、平成27年度においては、効果等はない。ただし、平成27年度地方創生加速化交付金の事業とし、国に申請し採択され、平成28年度から実施が決定した。

#### 【課題となっていること】

- 現在、いわゆる地域おこし協力隊は、多くの地区で募集が行われており、優秀な人材が確保できるかが課題となっている。観光協会又は商工会から委嘱等行う予定であり、ある程度自由に活動できる立場として活躍を期待するところである。なお、7月下旬頃から募集を開始する予定である。

②農業を中心とした産業の新たな展開

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	農産物直売所の売上高				
	現状値	H26年度 274百万円		目標値	H31年度 312百万円	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		274百万円				
2	指標の内容	地産地消食堂の来客者数				
	現状値	—		目標値	H31年度 35,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		地方創生加速化交付金にて採択				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	農業者支援事業	環境農政課	19,546				
2	農業施設整備事業	環境農政課	2,119				
3	農業振興事業	環境農政課	372				
4	特産品開発事業	企業支援課	500				

【効果があったこと】

- ・農産物直売所の売上高に変化はなかったが、農家が作った野菜を持ち寄る「受託品」の売上高は3.7%上昇した。
- ・鎌形地区に10haのラベンダー観光農園「千年の苑」事業を開始した。平成27年度はラベンダーの試験作付けを10a行い、平成27年度地方創生加速化交付金の事業として国に申請したところ、採択された。平成28年度はラベンダーの作付けを4ha行い、管理用機具を購入する予定である。
- ・地産地消農家食堂で提供する地粉うどんの原料である嵐山産の小麦「農林61号」の作付けを2ha行なった。平成27年度地方創生加速化交付金の事業として「めんこ61」を国に申請し採択されたので、平成28年度から実施する。

【課題となっていること】

- ・農産物直売所の売上高を上げ、農家の収益も増加する必要があるが、生産者の減少及び高齢化が進んでいるため、現在は伸び悩んでいる。計画にあるとおり、6次産業化等による新たな商品の開発・販売等を行っていく必要がある。
- ・「千年の苑」事業においては、来場者の駐車場対策や道水路などの除草作業が課題となっており、関係者と協議を進めている。
- ・地産地消食堂の店舗をどのように確保するかが課題となっており、現在検討を進めている。

(2) 就労機会の充実を図る

《基本目標》 嵐山町における就労機会の拡充を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町納税義務者数				
	現状値	H26年度 7,983人		目標値	H31年度 8,000人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
7,922人						

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○企業誘致による魅力的なまちづくり

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	企業誘致条例等による立地企業数				
	現状値	—		目標値	2件(平成27年度から平成32年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0件						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	企業誘致事業	企業支援課	0				
2	幹線道路整備事業	まちづくり整備課	80,410				

【効果があったこと】

- ・現状においては、川島地区エリアに新たな産業団地の整備を進めるため、関係機関との協議を進めている段階である。

【課題となっていること】

- ・新たな工業系エリアの早期完成には関係者における協議や財政面など多くの課題がある。ただし、地域雇用の創出、地域経済の活力向上、税収増のため優良企業の誘致を実現する必要がある。
- ・既存の工業系エリアである越畑地区やインターチェンジ周辺地区、鎌形地区への企業立地においても立地を促すことが必要である。

○既存企業との連携による共同事業の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	既存企業との共同事業				
	現状値	—		目標値	1事業(平成31年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0件						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31

1	(仮称)企業連携共同事業	企業支援課 地域支援課	—			
---	--------------	----------------	---	--	--	--

【効果があったこと】

- ・町内の企業より優秀な人材の確保を行うため、町と企業がコラボレーションして嵐山町の魅力向上につながる新たな事業を行いたいという申し出があり、事業内容について検討している。

【課題となっていること】

- ・町内企業等による町と共同した事業を行うことにより、嵐山町の魅力が多くの方に発信ができるよう、迅速な対応が課題となっている。

○潜在的な働き手の確保

①高齢者の就労の促進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	健康寿命*の向上				
	現状値	H26年度 男性 16.54歳 女性 19.64歳		目標値	H31年度 男性 16.85歳 女性 19.75歳	
	実績値	H27年度 男性 16.81歳 女性 19.78歳	H28年度 —	H29年度 —	H30年度 —	H31年度

※健康寿命は埼玉県方式を使用し、65歳に達してから介護保険制度の要介護2以上になるまでの間をいいます。

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	健康づくり事業	健康いきいき課	18,579				
2	高齢者就業促進事業	長寿生きがい課	7,280				

【効果があったこと】

- ・平成27年度から実施している「健康寿命を延ばそう!!プロジェクト」では、参加者146人（平均年齢67.4歳）で運動教室等延べ1,491人が参加した。参加者と非参加者の1人当たりの医療費を比較すると月平均で476円の差が効果として現れた。更に参加者の健康への意識が向上したと思われる。
- ・やすらぎトレーニングルームにおいても、休館としていた月曜日を開館し、利用日を今までの週5日から週6日としたことで、利用者の利便性が向上した。（利用者数延べ364人増）

【課題となっていること】

- ・プロジェクト参加者やトレーニングルーム利用者のみでなく、町民全体の健康に対する意識改革を今後もいかに進めていくかが課題である。

②高齢者の助け合いの充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山おたすけサービス事業延利用者数				
	現状値	H26年度 690人		目標値	H31年度 1,200人	
	実績値	H27年度 1,520人	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	嵐山おたすけサービス事業	長寿生きがい課	1,000				

【効果があったこと】

- ・嵐山おたすけサービス事業の利用者数の増加が図られ、自立に向けての生活改善、地域とのつながりや生きがいがづくり、定期的な見守りの更なる充実が図られた。

【課題となっていること】

- ・嵐山おたすけサービス事業においては、サービスを提供する協力会員が利用者に対し不足しているため、会員の確保が課題となっている。

③女性の就労支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
	指標の内容	待機児童数				
1	現状値	H26年度 0人		目標値	H31年度 0人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		21人				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	子どものための教育・保育給付事業	こども課	303,794				
2	保育所保育事業	こども課	27,433				
3	男女共同参画推進事業	地域支援課	48				

【効果があったこと】

- ・嵐山若草保育園の建替えにより平成27年4月から入所定員が11人増加した。さらに平成28年1月に企業内保育所・たいよう保育所が開設され、地域枠として定員が5人増加したことにより、平成27年度中に16人の受入れ枠拡大が図れた。

【課題となっていること】

- ・近年待機児童はいなかったが、共働き世帯の増加等により保育所入所希望者が増え、平成27年4月には21人の待機児童が生じた。受入れ枠の拡大を図ったが、待機児童の解消には至らなかった。今後も入所希望者が増加する見込みがあるため、更なる保育施設の整備が課題となっている。

## 2. 人の流れをつくる

(1) 「嵐山町（らんざんまち）」の知名度向上を図る

### 《基本目標》

「嵐山町（らんざんまち）」を応援して頂いている人数の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町公式ツイッターのフォロワー数				
	現状値	H26年度末 226人		目標値	H31年度末 2,000人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		328人				

### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○ICTを積極的に活用した知名度の向上

①ホームページ等インターネットやマスメディア等の積極的利活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町公式ホームページのヒット数				
	現状値	H26年度 126,354件/年		目標値	H31年度 200,000件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		123,288件/年				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	ホームページ運用管理事業	地域支援課	1,342				
2	比企地域情報発信事業	地域支援課	—				

【効果があったこと】

- ・平成27年度よりアピールしたいイベントやコンテンツにアクセスしてもらえるようホームページのトップ画面にリンク入りの画像を掲載し、町の伝えたい情報への誘導を図った。
- ・ツイッターを更に活用するよう、各種イベントや町の情報を随時投稿し、フォロワー数が増加した。

【課題となっていること】

- ・トップ画面の画像を時期に併せ変更より見やすく、かつ最新情報を掲載したが、ヒット数は減少してしまった。新鮮で分かりやすい情報発信が引き続き課題となっている。
- ・ツイッターも随時投稿はしているが、投稿回数が少なかったため、より多く情報発信することが必要である。
- ・日本語表記のままのため、外国人の方にも情報発信ができるよう多言語化を進めることも課題となっている。
- ・スマートフォンは多く普及しているため、ホームページもスマートフォン表示対応にすることも課題となっている。

②観光地等におけるインターネット環境の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	観光施設等におけるWi-Fiの設置数				
	現状値	H27年度 3件		目標値	H31年度 7件	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		3件				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	観光施設整備事業	企業支援課	3,433				

【効果があったこと】

- ・現在、役場庁舎エントランスホール、ふれあい交流センター、知識の森嵐山町立図書館に設置されており、外出先でも容易にインターネットに接続できる環境を提供している。

【課題となっていること】

- ・駅前発信拠点整備に併せWi-Fiを設置することを予定しており、快適にインターネットができる環境の整備を進める予定となっている。

③「むさし嵐丸」の活用

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	「むさし嵐丸」の知名度(アンケート調査より)				
	現状値	H27年度 8.6%		目標値	H31年度 30%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	マスコットキャラクター等維持管理事業	企業支援課	422				

【効果があったこと】

- ・むさし嵐丸は平成27年度に延べ46日(町所有分のみ)活動した。町の補助なく活動しているピースを始め、嵐山町の知名度の向上を行っている。

【課題となっていること】

- ・比企地域や世界キャラクターさみっとなどの各種イベントなどに参加しており、知名度向上を行っているが、イラストの活用などを積極的に行い、嵐山町以外においても更なる知名度の向上が課題となっている。



(2) 嵐山町への定住人口の増加を図る

《基本目標》 嵐山町の転入者の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町の転入者数の増加				
	現状値	—		目標値	純移動数累計 140 人増加 (平成 28 年度から平成 31 年度まで)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		14 人増				

《具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)》

○良好な住宅用地の確保

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	土地区画整理事業地内への建築物立地数				
	現状値	—		目標値	30 件(平成 27 年度から平成 31 年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		15 件				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	平沢土地区画整理事業	まちづくり整備課	124,210				
2	東原土地区画整理事業	まちづくり整備課	10,500				

【効果があったこと】

- ・土地区画整理地の住宅地への転換が図られ、平成 26 年度は 20 件、平成 27 年度は上記のとおり 15 件となっており、人口増加に寄与することができた。

【課題となっていること】

- ・人口減少にともなう住宅需要の縮小や、都心部の地価の低下に伴う人口移動、郊外地からの流出が進んでおり、引き続き影響が懸念される。
- ・近隣市町を見ても、優良住宅地が整備されている地区の人口が増加しており、土地区画整理事業の早期完成が課題となっている。

○子育て世代の転入者の増加推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	申請者数				
	現状値	—		目標値	125 件 (平成 27 年度から平成 31 年度まで累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		15 件				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	子育て世帯等転入奨励事業	地域支援課	3,890				

【効果があったこと】

- ・平成 26 年度から始まっている転入奨励事業だが、平成 26 年度は 7 件 22 人、平成 27 年度は 15 件 42 人の転入があった。転入奨励事業が次第に周知され、人口増加に寄与することができたと思われる。
- ・転入奨励事業のパンフレットを池袋駅や川越市等町外に置いてもらい、嵐山町の知名度向上も図っている。

【課題となっていること】

- ・転入奨励助成事業は新築以外も利用可能である。空き家等の情報提供を組み合わせ、さらなる周知が必要と思われる。
- ・平成 26 年度から 3 年間の時限制度であるが、期間延長の問合せもあり、早急な判断が必要となっている。

○有効な空き家対策の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	空き家バンクの売買件数				
	現状値	—		目標値	30 件(平成 28 年度から平成 31 年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	空き家対策事業	環境農政課	—				

【効果があったこと】

- ・平成 27 年度においては、実績はないが、平成 28 年度より環境農政課内に空き家対策担当が設けられ、本格的に空き家対策が行われることとなった。

【課題となっていること】

- ・今後、嵐山町に移住・定住を検討されている方に住まいの情報をきめ細かく提供する体制整備の構築が必要である。

(3) 嵐山町への来客数の増加を図る

《基本目標》

嵐山町への観光客数を増やし、交流人口の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	入込み観光客数の増加				
	現状値	H26 年度 321,916人/年		目標値	H31 年度 350,000 人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		319,382人/年				

## 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

### ○新たな駅前情報発信拠点の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	駅前情報発信拠点の来客者数				
	現状値	—		目標値	H31年度 3,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	情報発信拠点整備事業	企業支援課	12,420				

#### 【効果があったこと】

- ・新たな駅前情報発信拠点の整備のため、調査費においては、地方創生加速化交付金の対象事業として採択され、国庫補助を受けることができた。

#### 【課題となっていること】

- ・地域資源をつなげ、バージョンアップさせ、売り込み等も行なうことができる（仮称）らんざん活性化チームの中心的人材の選定については今後の検討課題である。
- ・施設整備については補助対象外となったため、財源の確保が課題となっている。

### ○嵐山溪谷バーベキュー場等の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山溪谷バーベキュー場の来客者数				
	現状値	H26年度 91,613人/年		目標値	H31年度 100,000人/年以上	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		92,716人/年				

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	観光施設整備事業	企業支援課	3,433				

#### 【効果があったこと】

- ・嵐山溪谷バーベキュー場などの観光施設や各種イベントに、多くの観光客が町を訪れて観光を楽しんだ。
- ・嵐山溪谷バーベキュー場においては、来客者が1,103人増加した。ごみについても持ち帰りから受け入れを行い、駐車場料金を上げたが、利用者にとってはより便利になったことも増加の理由のひとつと考えられる。また、バーベキュー場上流に新たに飛び石と遊歩道が完成し、嵐山溪谷中支部へのアクセスの利便性が向上し、紅葉を約300本植栽するなど、魅力の更なる向上を図った。

#### 【課題となっていること】

- ・民間WEBサイト「全国日帰りバーベキュー&キャンプ場」関東エリア人気スポットで6年連続第1

位を獲得するなど、人気は定着している。しかしながら、他の地域でも同様な施設が作られており、何度も訪問したいと思われるような観光施設となるよう更なる充実を図る必要がある。

### ○新たな観光資源の活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	杉山城跡の来客者数				
	現状値	H26年度 約1,500人/年		目標値	H31年度 3,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
2,340人						

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	観光施設整備事業	企業支援課	3,433				
2	杉山城跡整備事業	文化スポーツ課	36,637				
3	歴史・文化等観光活性化事業	文化スポーツ課	—				

#### 【効果があったこと】

- ・杉山城跡の環境美化を進め、見晴らしを維持することにより、歴史的資産である杉山城跡に興味を持っていただき、多くの方が杉山城跡に来ていただいた。嵐山町の知名度向上に寄与したものである。

#### 【課題となっていること】

- ・一部の方には名城として知れ渡っているが、より多くの方に知っていただけることが課題となっている。
- ・一般観光客や外国人観光客など多くの方が気軽に訪れていただけるよう、今後整備構想図の作成や外国人用を含む新たなパンフレット作成、駐車場及びガイドンス施設の整備を進めていく予定となっている。

### ○「武蔵嵐山」の再生

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山溪谷バーベキュー場の来客者数(再掲)				
	現状値	H26年度 91,613人/年		目標値	H31年度 100,000人/年以上	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
92,716人/年						

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	川のまるごと再生事業	環境農政課 まちづくり整備課 企業支援課	30,629 22,084 8,407				
3	武蔵嵐山管理活用事業	まちづくり整備課	—				

#### 【効果があったこと】

- ・本多静六博士が見た「べた一面の紅葉」を再生させるために、国や県の補助金を活用し、遊歩道の整備、古損木・不良木の整理、紅葉の植栽、駐車場設計等を行った。紅葉は約 300 本と植栽し、うち 30 本は「30 年後のために武蔵嵐山を再生しよう」と小学生や幼稚園・保育園児とその保護者による植栽イベントを行った。
- ・遊歩道の整備や紅葉植栽、駐車場の整備により、「武蔵嵐山」をもう一度再生することにより町民が何故「嵐山町」という地名になったのかという理解と多くの方が訪れるスポット及び嵐山町の知名度向上が図られたと思われる。

#### 【課題となっていること】

- ・嵐山溪谷バーベキュー場の来客数は増加したが、入込み観光客数は対前年比で 2,534 人減少した。
- ・嵐山溪谷バーベキュー場のみではなく、町内を含めて魅力を高め、何度も訪問したいと思われるようイベント・施設等の充実を図り、地域経済の活性化や知名度向上による人口減少の歯止めとなるよう好循環を形づくって行く必要がある。

### 3. 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる

#### (1) 結婚の機会拡大と妊娠・出産・子どもの健康の支援

《基本目標》 結婚の機会や妊娠・出産・子どもの健康の支援を行い、出生数の増加を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	出生数の増加				
	現状値	H25年度 95人		目標値	H31年度 130人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		112人/年				

#### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○結婚する機会の支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町の出会い支援事業に参加した人数				
	現状値	—		目標値	250人（平成31年度までの累計）	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		51人				

##### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	出会い支援事業	企業支援課	—				

##### 【効果があったこと】

- ・10月に商工会の主催によるバーベキュー&ウォーキング婚活イベントを開催し、51の方が参加していただき、多くの未婚者に出会いの機会を提供することができた。

##### 【課題となっていること】

- ・イベントに参加していただけるだけでなく、カップル成立数の増加が図られるよう事業内容を工夫することが課題となっている。

○妊娠・出産・子どもの健康に対する総合的な支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	乳幼児健康診査受診率				
	現状値	H26年度 91.5%		目標値	H31年度 100%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		96.6%				
2	指標の内容	法定外予防接種*の受診延べ人数				
	現状値	H26年度 860人		目標値	H31年度 910人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		856人				

※ここでいう法定外予防接種は、平成27(2015)年度時の法定外予防接種を指し、ロタウイルス・おたふく・B型肝炎・インフルエンザ(中学3年のみ)を基準とします。

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	乳幼児健診事業	健康いきいき課	3,100				
2	母子保健事業	健康いきいき課	1,646				
3	妊婦健康診査事業	健康いきいき課	11,627				
4	地域療育事業	健康いきいき課	1,282				
5	予防接種事業	健康いきいき課	46,966				
6	不妊助成事業	健康いきいき課	—				

【効果があったこと】

- ・個別通知で乳幼児健康診査の受診を勧め、乳幼児健康診査受診率が向上した。
- ・予防接種者数は減少したが、県内でもこれほど法定外予防接種のサービスが手厚い自治体はなく、子育て支援に積極的に取り組んでいるまちとして大きくアピールすることができた。
- ・予防接種の未接種者に対し、乳幼児健診や相談時での接種の勧奨や個別通知を行ない接種率が向上した。

【課題となっていること】

- ・共働きの世帯では比較的未受診の方が多く、共働き世帯の受診率向上への対策が課題となっている。
- ・法定外予防接種については、制度改正が頻繁に行われ定期接種になってきている。平成26年10月より水痘が定期接種に追加され、平成28年10月よりB型肝炎が追加される予定となっている。

(2) 未来志向の子育ての支援の充実

《基本目標》 子どもも大人も未来志向になるよう、子育て支援や食育の推進を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	地域子育て支援センター数及び年間利用者数				
	現状値	H26年度 1箇所 4,403人/年		目標値	H31年度 2箇所 6,500人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
1箇所 4,538人/年						
2	指標の内容	つどいの広場年間利用者数				
	現状値	H26年度 2,870人/年		目標値	H31年度 3,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
2箇所 1,108人/年						
3	指標の内容	朝食を毎日食べる3歳児の割合				
	現状値	H26年度 80.7%		目標値	H31年度 95%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
79.4%						

※平成26年度中は地域子育て支援センター数は2箇所ありましたが、平成27(2015)年度から1箇所となっています。

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

○子育て支援情報の積極的な提供

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	子育て支援情報専用サイトのアクセス数				
	現状値	—		目標値	H31年度 8,000件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
—						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	子ども・子育て支援事業	こども課	2,860				

【効果があったこと】

- ・子育て支援情報専用サイトについては今後実施していく予定となっている。
- ・嵐山町公式ホームページや広報紙において子育て支援情報を掲載している。

【課題となっていること】

- ・専用サイトを開設することで、子育て支援に関する情報がより入手しやすくなると思われるが、サイト開設のための財源が必要である。



○子ども・子育て支援の充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	待機児童数(再掲)				
	現状値	H26年度 0人		目標値	H31年度 0人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		21人				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	子どものための教育・保育給付事業(再掲)	こども課	303,794				
2	保育所保育事業(再掲)	こども課	27,433				
3	家庭保育室補助事業	こども課	442				
4	子ども・子育て支援事業	こども課	2,860				
5	地域子育て支援拠点事業	こども課	9,901				
6	遊びの場整備事業	まちづくり整備課	—				

【効果があったこと】(再掲)

- ・嵐山若草保育園の建替えにより平成27年4月から入所定員が11人増加した。さらに平成28年1月に企業内保育所・たいよう保育所が開設され、地域枠として定員が5人増加したことにより、平成27年度中に16人の受入れ枠拡大が図れた。

【課題となっていること】(再掲)

- ・近年待機児童はいなかったが、共働き世帯の増加等により保育所入所希望者が増え、平成27年4月には21人の待機児童が生じた。受入れ枠の拡大を図ったが、待機児童の解消には至らなかった。今後も入所希望者が増加する見込みがあるため、更なる保育施設の整備が課題となっている。

○子育て世帯への経済的支援の充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	子育て高齢者応援リフォーム補助金の申請件数				
	現状値	—		目標値	50件(子育て分) (平成27年度から平成31年度までの累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		1件(子育て分)				
2	指標の内容	多子世帯保育料減免対象児童				
	現状値	—		目標値	H31年度 15人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		24人				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	子育て高齢者応援リフォーム補助事業	企業支援課	807				

2	多子世帯保育料減免事業	こども課	減免額 1,598			
3	こども医療費支給事業	こども課	45,893			

【効果があったこと】

- ・全体の件数 6 件のうち 1 件と申請件数はが少なかったが、子育て世代の経済的負担について一定の軽減が図られたと思われる。
- ・保育所に入所する第 3 子以降の児童の保育料を助成することにより、多子世帯の経済的負担の軽減が図れた。

【課題となっていること】

- ・子育て高齢者応援リフォーム補助事業制度の周知等を図り、嵐山町において、さまざまな子育て世帯の経済的負担軽減策があることを知ってもらうことが必要である。
- ・多子世帯保育料の減免は、埼玉県と共に実施している事業であるため、県補助が終了した場合、今後、町単独事業として実施していくか課題となっている。

○食育の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数				
	現状値	H26 年度 週 8.8 回		目標値	H31 年度 週 10 回以上	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		H31 年度測定予定				
2	指標の内容	学校給食における地場産物を使用する割合(食材の種類)				
	現状値	H26 年度 10 品目		目標値	H31 年度 15 品目	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		13 品目				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	健康づくり事業	健康いきいき課	18,579				
2	食育事業	健康いきいき課	—				

【効果があったこと】

- ・妊娠期の食育の啓発を図るため、マタニティセットにレシピ等を配布し、食に対する知識を高めることができた。
- ・乳幼児健診・相談において食育指導を実施し、望ましい食生活の普及促進を行なった。
- ・親子クッキングを通じて、子ども達の食に対する関心を高めることができた。
- ・学校給食に地元野菜を 30%以上（実績 31.6%）使用することができた。

【課題となっていること】

- ・プレママプレパパ教室の参加者以外への食育についての普及が課題となっている
- ・子どもが朝食を毎日食べることができるよう、親の朝食摂取率の向上が求められている。
- ・仕事が忙しく、家族と一緒に食事を摂ることのできない共働きの世帯が多くなっており、対応策が課題となっている。

- ・給食に使用する作物の大半は露地物となっているため、出荷時期が限られている。それにより、嵐山町産を使用する献立に制限がかかることが課題となっている。

### (3) 嵐山町の教育環境の充実

#### 《基本目標》

まちづくりの基本はひとづくりであり、優秀な人材を輩出するため、教育環境の充実を図り、若い世代に安心と希望を創出します。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「学力」の達成率				
	現状値	H26年度 95.5%		目標値	H31年度 98.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				
2	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「新体力テスト」の県平均を上回る項目率				
	現状値	H26年度 80.0%		目標値	H31年度 90.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		98.6%				
3	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「規律ある態度」を8割以上身に付けている生徒の割合				
	現状値	H26年度 80.0%		目標値	H31年度 90.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		94.4%				

#### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○町立小中学校の学力の向上

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	埼玉県が行う3つの達成目標における「学力」の達成率				
	現状値	H26年度 95.5%		目標値	H31年度 98.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	学力向上事業	こども課	0				

#### 【効果があったこと】

- ・「埼玉県学力・学習状況調査」について、教科の領域別、評価の観点別、問題形式別に分析を行っており、学級の課題や傾向を把握した上で授業を行っている。
- ・小中学校の教職員で、学力向上を目的とする「学力向上推進委員会」を設置し、現状把握、共通目標の設定、取組計画等について協議する体制を構築することができた。

#### 【課題となっていること】

- ・今までは学力の達成率を指標としていたが、平成27年度からの「埼玉県学力・学習状況調査」は、児童生徒一人一人の学力・学習意欲を確実に伸ばす学習指導を進める方針に変更された。個々に応

じた支援を行っているため、実績値を数値化することは難しいが、全国学力・学習状況調査の結果から見えてくる本町の傾向は、次のようになる。

～小学校～

国語：知識を問う調査では県の平均正答率とほぼ同じだが、活用を問う調査ではやや下回る傾向にあるため、活用する力を伸ばすことが課題となった。

算数：活用を問う調査では県の平均正答率を上回ることが出来たが、知識を問う調査で下回る結果になったため、今後は基礎基本の確実な定着が課題となった。

理科：県の平均正答率よりわずかに下回る結果となった。

算数・理科で課題となった単元の指導方法等の工夫・改善が必要である。

～中学校～

国語・数学・理科

知識・活用を問う調査では県の平均正答率とほぼ同じ、又は、上回ることができた。小中学校での授業連携等の効果と推測できる。しかし、正答者数のグラフは、二極化を示す傾向の教科もあり、基礎基本の繰り返しによる、学力の底上げが課題となった。

- ・「新体力テスト」の結果から、長座体前屈、ボール投の数値が低かった。柔軟性と投力を向上させるための運動を、日常の遊びや体育の授業に取り入れる必要があると思われる。
- ・平成 27 年度において、各中学校にタブレット型の PC を導入した。今後の ICT の活用を含めた学力向上への対応が課題となっている。

※「埼玉県学力・学習状況調査」の方針が平成 27 年度中に策定されたため、今後県の正式な方針が決定された後 KPI 等の改定を行う予定とします。

## ○特色ある教育の推進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山町の中学生の不登校率				
	現状値	H25 年度 2.52%		目標値	H31 年度 2.42%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		3.49%				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	小中一貫教育推進事業	こども課	9,142				

【効果があったこと】

- ・不登校率は若干上がってしまったが、不登校を克服し、登校する生徒も出てきた。平成 28 年度に更に不登校対策を実施するため、スクールソーシャルワーカーの配置日数の拡大とスクールパートナーを配置した。
- ・小・中学校 9 年間の連続性を重視し、小中一貫教育の推進により児童生徒の学習意欲の向上と「中 1 ギャップ」の解消を図ることができた。

【課題となっていること】

- ・平成 28 年度から更なる対策を実施したが、長期不登校児への対応について更なる研究や検討が必要となっている。

○学習の基礎となる国語力の向上

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	学校図書館貸し出し冊子数				
	現状値	—		目標値	H31年度 100,000冊/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
25,047冊						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	学校図書館事業	こども課	—				

【効果があったこと】

- ・読書マラソンなどを実施し、児童生徒の読書の意欲を高めている。
- ・平成28年度より3つの小学校の学校図書館を巡回する学校司書を配置することとなった。

【課題となっていること】

- ・児童生徒と学校のニーズにあった学校図書館の蔵書の選定が課題となっている。
- ・読書マラソンが定着するような取組が課題となっている。
- ・今後は、図書システムの導入など、各児童生徒に合った図書の案内を行なう体制の整備を行なう必要がある。

○学校教育環境の改善

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	中学校の体操着及び制服の変更				
	現状値	—		目標値	平成31年度までに実施	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
—						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	学校ブランド化事業	こども課	—				

【効果があったこと】

- ・平成27年度に菅谷小学校の体操着がリニューアルされた。
- ・嵐山町主導ではないが、平成28年度から大妻嵐山高等学校の制服がリニューアルされた。

【課題となっていること】

- ・体操着及び制服のデザイン変更を学校生徒の意見も含めて、今後検討していく。

○学校施設の改善

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	老朽化したプール施設の改修				
	現状値	—		目標値	平成 31 年度までに実施	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	小中学校施設改修事業	こども課	53,953				

【効果があったこと】

- ・国の補正予算を活用し、平成 28 年度に老朽化していた菅谷小学校のプールを建替することとなった。

【課題となっていること】

- ・菅谷小学校以外の小中学校のプールも老朽化しているため、対応が課題となっている。

○民間活力等を利用した学習支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	(仮称)嵐山町学習支援教室の開催				
	現状値	—		目標値	平成 31 年度までに開催	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		—				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	(仮称)嵐山町学習支援教室事業	検討中	—				

【効果があったこと】

- ・平成 31 年度までの開催に向け、担当課の決定を含め進めることになっているが、平成 27 年度の実績はない。

【課題となっていること】

- ・民間ボランティア等による児童・生徒への学習支援の実施をどのように進めていくか検討が必要である。

#### 4. 住みよい環境をつくる

##### (1) 武蔵嵐山駅周辺施設の充実

《基本目標》 嵐山町の玄関口である武蔵嵐山駅周辺施設の充実を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	武蔵嵐山駅の乗降客数				
	現状値	H26年度 7,773人/日平均		目標値	H31年度 10,000人/日平均	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		6/24時点データなし				

##### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○武蔵嵐山駅前施設の整備ときれいな駅の維持管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	駅前情報発信拠点の来客者数(再掲)				
	現状値	—		目標値	H31年度 3,000人/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		計画段階				
2	指標の内容	放置車両の台数				
	現状値	H26年度 82台/年		目標値	H31年度 30台/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		50台/年				

##### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	情報発信拠点整備事業(再掲)	企業支援課	12,420				
2	駐輪場整備管理事業	地域支援課	1,044				

##### 【効果があったこと】

- 新たな駅前情報発信拠点の整備のため、調査費においては、地方創生加速化交付金の対象事業として採択され、国庫補助を受けることができた。

##### 【課題となっていること】

- 地域資源をつなげ、バージョンアップさせ、売り込み等も行なうことができる(仮称)らんざん活性化チームの中心的人材の選定については今後の検討課題である。
- 施設整備については補助対象外となったため、財源の確保が課題となっている。
- 駅前放置については、撤去を行っているが、完全になくなることはないのが現状である。車両を強制的に撤去するのみでは、駅前の放置自転車の根本的解決には至らず、新たな対策が必要である。

○駅周辺未利用地の活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績				
1	指標の内容	駅前の空き店舗又は空き家の利活用数			
	現状値	—		目標値	3件（平成28年度から平成31年度累計）
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 H31年度
		—			

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	地域活性化事業(再掲)	地域支援課	—				

【効果があったこと】

- ・駅前の空き店舗や利活用の対応は平成27年度は計画作成のみのため実施できていない。ただし、平成28年度から環境農政課に空き家担当を設置した。

【課題となっていること】

- ・駅周辺の活性化は町の長年の課題となっており、財源の確保や関係者との協議が必要である。

(2) 自然豊かな環境整備の推進

《基本目標》

自然豊かな環境を保全・活用しつつ、「住んでいてよかった」といわれるような快適なまちづくりを進めます。

No.	基本目標と年度別実績				
1	指標の内容	耕作放棄地面積			
	現状値	H26年度 116ha		目標値	H31年度 116ha 維持
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 H31年度
		116ha			
2	指標の内容	主体的な道路維持管理団体数(アダプトプログラム及び嵐山まもり隊数)			
	現状値	H26年度末 7団体		目標値	H31年度末 22団体
	実績値	H27年度			
		10団体 ロードサポート7団体 嵐山まもり隊3団体			
3	指標の内容	交通弱者に対するデマンドタクシー利用者数			
	現状値	H25年度 398人		目標値	H31年度 450人
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 H31年度
		516人			



《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○耕作放棄地の解消

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	耕作放棄地面積				
	現状値	H26年度末 116ha		目標値	H31年度末 116ha維持	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
116ha						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	農業者支援事業	環境農政課	19,546				
2	農地情報登録事業(農地バンク)	環境農政課	—				

【効果があったこと】

- ・青年新規就農者を1名認定し、農家の平均年齢の上昇を抑えることができた。
- ・水田の利用においては、担い手や農業生産法人へ利用集積が進められている。(利用集積面積 25.6ha)
- ・耕作放棄地については、維持できており、増加を食い止めることができた。
- ・平成26年10月から農地バンク制度を開始し、遊休農地や所有者が管理できなくなった農地を担い手に貸し出すことができた。(農地バンク実績 0.9ha)

【課題となっていること】

- ・新規就農者の増加を図り、更なる農業者の平均年齢を下げ、持続可能な農業を行っていく必要がある。しかしながら、農業者の高齢化、担い手不足が進んでおり、大変厳しい状況が続いている。
- ・日照や道路条件の悪い農地などは、借り手を捜すのが難しい状況となっており、耕作放棄地の増加が懸念されている。新たな方法が望まれているが、画期的な対応策が見つからない。

○自然豊かな里地里山環境の保全・管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	里山平地林再生事業地(埼玉県事業)				
	現状値	H26年度末 延べ 58.28ha		目標値	H31年度末 延べ 59ha	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
66.34ha						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	林業振興事業	環境農政課	3,138				
2	自然緑地管理活用事業	環境農政課	1,937				
3	オオムラサキの森管理事業	環境農政課	3,174				
4	トラスト地管理事業	環境農政課	352				
5	農地地域資源・環境保全向上事業	環境農政課	4,703				

【効果があったこと】

- ・計画より広く同意を得ることができ、放置された里山・平地林を再生することができた。生物多様性の保全や景観向上など森林の維持・回復が図られたと思われる。

【課題となっていること】

- ・県の事業は、一度のみの伐採であり、整備後の維持、管理を行う体制作りが課題となっている。

○道路・橋りょうの適正な維持管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	主体的な道路維持管理団体数(アダプトプログラム及び嵐山まもり隊数)				
	現状値	H26年度 7 団体		目標値	H31年度 22 団体	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		10 団体 ロードサポート7 団体 嵐山まもり隊 3 団体				
2	指標の内容	橋りょうの修繕				
	現状値	—		目標値	17 橋(平成 28 年度から平成 31 年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		11 橋				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	道路修繕事業	まちづくり整備課	53,602				
2	道路管理事業	まちづくり整備課	10,417				
3	橋りょう修繕事業	まちづくり整備課	12,715				
4	嵐山まもり隊事業	地域支援課	146				

【効果があったこと】

- ・平成 27 年度より草の根的なボランティアである嵐山町まもり隊の募集を開始した。平成 27 年度は 3 団体 15 名の参加があった。県のロードサポートと共に、ボランティアによる町内の環境美化清掃などの草の根的な活動が広まったと思われる。
- ・橋りょうの修繕は計画通り進んでおり、適正な維持管理を図っている。

【課題となっていること】

- ・まもり隊活動を広めるため、さらにポスターや広報を活用し、全町的な活動となる必要があると思われる。
- ・橋りょうの修繕計画に基づき平成 28 年度修繕予定の橋りょうを工事する予定だったが、橋りょうの定期点検により予定外の修繕が必要な橋を発見したため、優先して修繕を行う必要がある。

○上水道及び下水道の適正管理

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	水道の有収率※				
	現状値	H26 年度末 95.55%		目標値	H31 年度末 95%維持	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		94.93%				
2	指標の内容	下水道水洗化人口普及率				
	現状値	H26 年度末 83.3%		目標値	H31 年度末 90%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		85.1%				
3	指標の内容	合併処理浄化槽人口普及率				
	現状値	H26 年度末 65.0%		目標値	H31 年度末 80%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		66.4%				

※有収率：配水量に対して、どのくらい有収水量があったかを示す割合です。（料金対象となった水の割合で、100%になることが望ましいといわれています。）

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	配水管網整備	上下水道課	38,631				
2	基幹管路耐震化事業	上下水道課	128,052				
3	設備更新事業	上下水道課	22,636				
4	設備整備事業	上下水道課	0				
5	経営効率化事業	上下水道課	21,447				
6	下水道事業特別会計繰出金	上下水道課	234,904				
7	都市下水路管理事業	上下水道課	1,845				
8	浄化槽市町村整備事業	上下水道課	104,037				

【効果があったこと】

- ・水道施設及び設備・非常用発電機等の適切な整備・更新・維持管理等を実施し、水道水の安定供給をすることができた。
- ・今後も安全な水の安定供給及び健全な事業経営を継続するため、第1次水道ビジョンの見直しを行い3月に嵐山町第2次地域水道ビジョンを策定した。
- ・下水道施設整備を進め、未接続世帯への水洗化促進の効果により、人口普及率の向上が図られた。
- ・町管理型浄化槽整備推進事業の開始によって、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換設置の促進を図ることにより、浄化槽人口普及率が増加した。

【課題となっていること】

- ・人口減少による給水人口の減少が進んでおり、財源の確保が課題となってきている。
- ・安全な水を安定して供給するため、老朽化している施設等の更新・耐震化が必要となっている。
- ・下水道人口普及率は目標を上回っているが、下水道処理区域内の未接続人口が14.9%あり、接続推進が必要である。

- ・整備計画での進捗率は順調であるが、単年度整備基数としては鈍化傾向にあり、目標の浄化槽人口普及率に達するために、より一層の普及啓発を行う必要がある。

### ○交通弱者に対する支援

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	交通弱者に対するデマンドタクシー利用者数				
	現状値	H25年度 398人		目標値	H31年度 450人	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		516人				

【決算額】 (千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	交通弱者対策事業	地域支援課	2,692				
2	デマンド交通事業	長寿生きがい課	8,030				

#### 【効果があったこと】

- ・デマンドタクシーの利用促進が図られ、在宅高齢者の外出支援に寄与した。
- ・生活交通に関する基礎調査を行い、一定の利用者のニーズを把握することができた。

#### 【課題となっていること】

- ・申請率、利用率を向上させ、更なるデマンドタクシー利用者の増加を図りたい。
- ・生活交通に関する基礎調査においては、公共交通機関の利用は少なく、移動は車に依存していることが改めてデータとして判明した。通勤通学交通の不満足度は32%（満足度68%）で、全国52.6%と比較し少なくなっている。（買い物交通の不満足度24%、満足度76%）デマンドタクシーの利用者の満足度は高いが（満足度55%、不満2%）、町民全体に対するデマンドタクシーの周知が課題（知らない方92%）となっているという結果となった。地形的にもバスによる公共交通施策は難しいという分析となった。今後調査結果により財政面を考慮しながら持続可能な施策を検討していく。

## 5. 地域の安全・安心をつくる

### (1) 安全・安心な公共施設の推進

#### 《基本目標》

既存の公共施設の計画的な修繕を行い、公共施設等総合管理計画の策定など公共施設の適正化や複合化等利活用を図ります。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	公共施設等総合管理計画個別計画の策定				
	現状値	—		目標値	平成 31 年度までに全施設策定	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
策定中						

#### 《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

##### ○公共施設の維持管理と利活用

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	公共施設等総合管理計画個別計画の策定				
	現状値	—		目標値	平成 31 年度までに全施設策定	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
策定中						

#### 【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	公共施設等総合管理計画個別計画策定事業	地域支援課	—				

#### 【効果があったこと】

- ・公共施設総合管理計画個別計画の策定に向けデータを集め、策定の準備を行なっている。

#### 【課題となっていること】

- ・平成 28 年度内に公共施設総合管理計画を策定する予定であり、その後各分野の施設の計画を策定する必要があり、財源の確保が課題である。

### (2) 交通安全の推進

#### 《基本目標》

交通安全意識の普及や道路環境の整備を図り、事故のない安全なまちづくりを目指します。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	交通事故(人身事故)発生件数				
	現状値	H26 年度 73 件/年		目標値	H31 年度 65 件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
87 件/年						

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○交通事故発生件数の減少への取り組み

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	交通事故(人身事故)発生件数				
	現状値	H26年度 73件/年		目標値	H31年度 65件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
87件/年						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	交通安全施策推進事業	地域支援課	668				
2	交通安全施設整備事業	まちづくり整備課	9,510				

【効果があったこと】

- ・警察及び交通安全関係団体等と連携した啓発活動を行うことができおり、死亡事故は発生していない。

【課題となっていること】

- ・死亡事故は発生していないが、交通事故件数は増加してしまった。けがや物損などの事故が多発している交差点等の安全対策を強化することが課題となっている。

○幹線道路や生活道路の整備

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	幹線道路(町道)の整備予定距離				
	現状値	—		目標値	2,005m (平成27年度から平成31年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0m						
2	指標の内容	生活道路(町道)の整備予定距離				
	現状値	—		目標値	537m (平成27年度から平成31年度累計)	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
160m						

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	幹線道路整備事業	まちづくり整備課	80,410				
2	生活道路整備事業	まちづくり整備課	47,931				

【効果があったこと】

- ・幹線道路である町道1-3号を歩道も含めた形で拡張を行うため、道路用地の買収を行った。
- ・生活道路である鎌形75号線の拡幅により利便性と地域の活性化を図ることができた。

【課題となっていること】

- ・工業系土地利用を進めるため、都市計画道路の未整備箇所の整備等を行うための財源の確保と関係者との協議が課題となっている。
- ・住宅密集地域における狭あい道路の解消を進めていく必要があるが、財源の確保が課題となっている。

(3) 防犯対策の充実

《基本目標》

地域一体となって犯罪の起こりにくい環境を整備し、安全なまちづくりを目指します。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	犯罪発生件数				
	現状値	H26年度 139件/年		目標値	H31年度 110件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		168件/年				

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○防犯対策意識の充実

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	犯罪発生件数				
	現状値	H26年度 139件/年		目標値	H31年度 110件/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		168件/年				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	防犯対策事業	地域支援課	2,426				
2	防犯モデル地区事業	地域支援課	1,000				
3	道路照明灯施設設置事業	まちづくり整備課	9,501				
4	道路照明灯施設管理事業	まちづくり整備課	22,308				

【効果があったこと】

- ・町内全域において自主防犯組織による活動が積極的に展開されている。(防犯ボランティア登録数 1,008人)
- ・課題であった既存防犯灯のLED化を果たし、全ての防犯灯をLED灯に変更できた。防犯灯が明るくなり、電力も節約することができた。

【課題となっていること】

- ・既存の自主防犯組織の活動を今後も継続する体制の維持が必要である。
- ・児童の登下校時の見守り活動者の高齢化が進んでおり、課題となっている。

(4) 防火・防災対策の充実

《基本目標》

地域住民や関係機関と連携を密にし、火災や災害のない安全・安心なまちづくりを進めます。

No.	基本目標と年度別実績					
1	指標の内容	自主防災組織における防災訓練の実施数				
	現状値	H26年度 7回/年		目標値	H31年度 10回/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		10回/年				

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

○防火・防災対策への取り組み

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	自主防災組織における防災訓練の実施数				
	現状値	H26年度 7回/年		目標値	H31年度 10回/年	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		10回/年				
2	指標の内容	防災無線のデジタル化				
	現状値	H26年度 6局		目標値	H31年度 55局	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		6局				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	防災対策事業	地域支援課	1,140				
2	防災行政無線施設整備管理事業	地域支援課	4,819				
3	防災訓練事業	地域支援課	0				

【効果があったこと】

- ・各自主防災組織による訓練が目標を上回り活発に実施されている。
- ・上水道管路整備に合わせ、効率的に消火栓整備を進めることができた。

【課題となっていること】

- ・各地域における防災訓練の際に、より多くの住民に参加していただくことが課題となっている。
- ・大震災が起きた場合は、計画が機能しない事例が出ている。実際に大震災が襲ったときの体制整備が課題となっている。



○個人住宅の耐震化の促進

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	一般個人住宅の耐震化率				
	現状値	H25 年度末 65.4%		目標値	H31 年度末 95.0%	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		66.2%				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	耐震化促進事業	企業支援課	4				

【効果があったこと】

- ・耐震性能をもった戸数が増加したことにより、住宅の安全性が向上した。

【課題となっていること】

- ・補助金申請の実績は少なく、旧耐震基準の住宅の耐震化は進んでいないと思われる。耐震改修の重要性について今後も啓発を進め、住宅の耐震化率の向上を図る必要がある。

○高齢者のバリアフリーへの対応

No.	重要業績評価指標と年度別実績					
1	指標の内容	子育て高齢者応援リフォーム補助金の申請件数				
	現状値	—		目標値	50件（高齢者分） （平成27年度から平成31年度までの累計）	
	実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		5件				

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	子育て高齢者応援リフォーム補助事業(再掲)	企業支援課	807				

【効果があったこと】

- ・実績件数は少ないが、高齢者世帯の住環境について一定の改善が図られたと思われる。

【課題となっていること】

- ・実績件数が少ないため、制度の周知をより積極的に図り、高齢者世帯の住環境の改善を図っていくことが課題である。

## 結 果

---

○平成27年度実績での目標値に対する進捗状況

(1項目に目標が2つあるものについては、良い方の実績で判定しています。)

基本目標進捗状況	
達成度	項目数
100%達成	3項目
100%～80%達成	7項目
80%～60%達成	2項目
60%～30%達成	2項目
30%～0%超達成	2項目
達成度0%	2項目
その他 (計測等今後行うものも含む)	2項目

重要業績評価指標進捗状況	
達成度	項目数
100%達成	7項目
100%～80%達成	9項目
80%～60%達成	5項目
60%～30%達成	3項目
30%～0%超達成	8項目
達成度0%	8項目
その他 (計測等今後行うものも含む)	13項目